

～ 関東エリア初 平成 29 年 1 月 1 日より ～

車内液晶表示器“OBC-VISION”によるデジタルサイネージ広告の放映開始



【レシップ社製OBC-VISION】



【さいたま東営業所所属路線バス】

国際興業株式会社（本社：東京都中央区 社長：南正人）は平成 29 年 1 月 1 日（日）より、さいたま東営業所の路線バス 107 両に搭載されている液晶表示器“OBC-VISION”を用いて、デジタルサイネージ広告の放映を開始します。なお、バス車内正面に設置された同端末を活用しデジタルサイネージとして広告を放映するのは、関東エリアでは当社が初の試みとなります。

“OBC-VISION”はレシップ株式会社（本社：岐阜県本巣市 社長：杉本眞）が開発したバス車両用の液晶表示器で、主制御部にパソコンと同等の制御基板を内蔵しており、きめ細かな運行案内や業務案内、CM等のコンテンツを表示することができます。弊社では以前より 2 画面仕様の同端末を導入し、左側に運賃、右側にバス停名などの業務案内を表示してまいりましたが、今回、レシップ社の協力で右側画面にデジタルサイネージとして広告が表示できるよう、仕様変更を実施しました。

バス広告には、車外側面や後部の看板、車内の吊下げ広告や窓上ポスター、窓部分のステッカー、車内放送などがありますが、デジタルサイネージ広告は、乗客の皆様に対してスライド画像による視覚的なPRが可能となり、広告効果の向上が期待できます。

同広告の取り扱いは、さいたま東営業所の路線バス車両のみとなりますが、順次他の営業所の車両への展開も予定しております。

《2画面仕様OBC-VISIONによるデジタルサイネージ広告について》

1. 実施内容 バス車内正面に設置している 2 画面仕様の OBC-VISION の右画面をデジタルサイネージ広告用として利用し、15 秒間隔で広告画像をスライド表示します。
2. 対象車両 国際興業バス さいたま東営業所所属路線バス車両 107 両
※今後、対象車両及び対象営業所を順次拡大する予定です。
3. 放映広告 17 社（平成 28 年 12 月 27 日現在）
4. 実施時期 平成 29 年 1 月 1 日（日）～
5. データ作成 レシップ株式会社